

レインボータウンFM49

伊藤広規 「旅と人と音楽と」
(第 49回 2018. 10.3 OA)

【第49回オープニング】

みなさんこんばんは。ベーシストの伊藤広規です。
レインボータウンFM、伊藤広規「旅と人と音楽と」今夜は第49回目！
それでは行ってみましょう！

【説明1】

この番組は、周波数79. 2メガヘルツ「レインボータウンFM」から江東区を中心に、その周辺のエリアにお届けしています。
サイマルラジオ、リスラジなどのインターネットラジオなら、日本のみならず世界中でお聞きいただけます。

【トーク1】

今夜は この曲をまずマルマルたっぷり聞いてください。
Narada Michael Walden 1980年アルバム「Victory」から
「Victory Suite (c)Victory For The Hero Soldiers」

《1 曲丸々かけて 2回目になる》

【曲途中】

このナラダ マイケル ウォールデンのファーストソロアルバムは、出たばかりの頃に渋谷のシスコで買いました。
ナラダは、ジェフベックの「ワイヤード」で一躍有名になったドラマーですね。彼はドラムだけでなく、アレサフランクリンや、ホイットニーヒューストンの腕利きプロデューサーとしてもグラミーやアカデミー賞も受賞してます。すごいですね。

1980年の、その頃 ギターの北島健二のソロアルバムを手伝いまして、レコ発LIVEを六本木のピットインでやる時に気に入ってこの曲を演奏しました。
ライブのメンバーは、北島と私、ドラム青山純、キーボード笹路正徳(まさのり)。ボーカルはまだデビューする前の織田哲郎。面白いライブでした。

で、そのリハの時に、この曲に浪曲の詞が凄く合うんで、みんなで歌って偉い盛り上がりしました。

「旅ゆけば 駿河国の茶の香り〜ダメよ〜ダメよ〜いいの〜」なんて。。

浪曲「次郎長伝」の出だしがピッタリなんです。

ナラダの曲のセンスもいいですが、俺たちの曲を受け取るセンスも、普通じゃないですね〜。

その頃、北島健二は22歳、メンバーも20代のいたすら盛り！

音楽でイタズラするのは最高です。

で、リハーサルの音をカセットテープに録音して、プレーバックしてチェックするんですが、北島が持ってるテレコがピッチコントロール付きで！

倍速でチェックしたんです！

そうすると笑えるし半分の時間で済むし、意外にも曲の構成のチェックが解りやすいんですね〜。今度やって御覧なさい！
もちろんプレイのチェックは出来ません。

みんな上手いから、一々プレイのチェックなんかしなくていいんです。

あ！また、何か、自慢みたいになっちゃったなあ〜。

まあ、倍速リハチェックってのは、後にも先にも、その時だけです。(笑)

一応、北島健二のソロアルバムは、1981年リリース「叛逆のギター戦士」っていうタイトルなんですが、本人曰く「コンニャクのギター卵」って言ってました！

なに遠慮してるんでしょうね〜。

あんなにヤサグしてるプレイなのに。(笑)

皆、今はいい歳になりました！北島と笹路と織田とまたLIVE 演りたいですねー。

《2回目フェイドアウト》

【エンディング 短い】

さて、今週の伊藤広規 旅と人と音楽と。みなさんいかがでしたでしょうか？

この番組への感想や私へのメッセージなど、伊藤広規『旅と人と音楽と』公式サイトからいただけるととっても嬉しいです。
URLはKokiradio.net(コーキレディオドットネット)、アルファベットでケーオーケーアイ アールエーディーアイオー ドットネットです。

メッセージをくださった方の中から毎月1名さまに、広規チャリティバンダナと、広規ラジオ 特製グッズをプレゼント！
9月の当選者は ラジオネーム あきらっちさん！おめでとうございます！

では、来週も水曜日

この時間に！

《間》

伊藤広規でした。